

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第5部門第1区分
【発行日】令和6年7月30日(2024.7.30)

【国際公開番号】WO2023/079686
【出願番号】特願2023-557543(P2023-557543)

【国際特許分類】

F 0 2 N 1 1 / 0 4 (2 0 0 6 . 0 1)
H 0 2 P 6 / 0 8 (2 0 1 6 . 0 1)
F 0 2 N 1 1 / 0 8 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【 F I 】

F 0 2 N 1 1 / 0 4 C
H 0 2 P 6 / 0 8
F 0 2 N 1 1 / 0 8 K

【手続補正書】

【提出日】令和6年4月24日(2024.4.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0068】

なお、電流波形の制御として、制御装置60は、例えば、巻線41に対し方形波駆動を行うようにスイッチング部51を制御してもよい。

制御装置60は、例えば、巻線41に方形波状の電流を流れるように制御する場合、120度通電方式によるタイミングで複数のスイッチング部51をオン・オフ動作する。120度通電方式は、複数相の巻線41の各相に対し、通電休止期間を設け、通電角180度未満の間欠通電を行う方式である。但し、120度通電方式の場合、常時、いずれかの巻線41に極大値相当の電流が流れる。

30

例えば、高出力状態C2において、制御装置60は、方形波の一周期内における電流の供給期間、スイッチング部51のデューティ比を約100%に維持する。

これに対し、低出力状態C1において、制御装置60は、方形波の一周期内における電流の供給期間、スイッチング部51のデューティ比を、約30%に維持する。この場合、低出力状態C1において各巻線41に流れる電流は、高出力状態C2における電流の1/3となる。この結果、低出力状態C1における永久磁石式同期モータ20の出力は、高出力状態C2における永久磁石式同期モータ20の出力の1/3となる。

正弦波駆動によれば、制御が簡単である。このため、より低い処理能力を有する演算装置も利用することができる。制御装置60の設計自由度が高い。

40

50